



このまち思いエネルギー。

広島ガス

Corporate Social Responsibility Report

広島ガス  
CSR報告書

2022

持続可能な社会を私たちの手で…



# CONTENTS

CSR活動に対する広島ガスグループの基本的な考え方	1
TOP MESSAGE	2
経営理念体系	3
広島ガスグループSDGsの取り組み	4

<b>特集</b> 広島ガスグループ 「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」	5
---	---

TOPICS	9
・三原西部工業団地における冷熱供給事業	
・ABC Cooking Studioとの連携	
・広島ガスグループにおけるDX	
・廿日市工場におけるローカル5G実証実験	
・東京証券取引所 プライム市場上場維持基準適合に向けた取り組み	

## 経営分野

都市ガス事業フロー、供給区域と体制	11
都市ガスの安定供給に向けた取り組み	13
お客さまの安心・安全に向けた取り組み	14
防災対策	15
広島ガスグループの経営体制	17
中期経営計画	19
連結財務データ	21

## 環境分野

環境マネジメント	25
環境目標	26
お客さま先でのCO <sub>2</sub> 削減への貢献	27
再生可能エネルギーの普及拡大	29
事業活動に伴うCO <sub>2</sub> 排出量削減	30
廃棄物の削減、資源の有効利用	31
地域環境保全への貢献	32
バリューチェーンの環境負荷(2021年度実績)	33

## 社会分野

地域社会との関わり (芸術・文化振興、地域振興、スポーツ振興、教育支援)	35
情報発信・お客さま満足度向上の取り組み	38
求める人材像 「高い人間力と現場力を兼ね備えた人材」	39
働きやすい職場環境をめざして	40
労働安全衛生の取り組み	41

CSR報告書2022によせて	42
広島ガスの概要	43
広島ガスグループの概要	44

## CSR活動に対する 広島ガスグループの基本的な考え方

広島ガスグループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念のもと、地域の皆さまにエネルギーを安定的、かつ安心して安全にお使いいただくという、社会的責任の高い事業を行っています。その事業遂行そのものが、大きな「社会的責任」であり、事業活動を通じてSDGsの達成に幅広く貢献したいと考えています。

今後も、持続可能な社会の実現に向け、ガス体エネルギーの積極的・効率的利用による累積CO<sub>2</sub>の低減に邁進するとともに、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた事業基盤の改革・強化に挑戦していきます。また、社会貢献活動や、コーポレート・ガバナンスの充実など、ESG(環境、社会、ガバナンス)を意識した経営を通じて、お客さま・株主の皆さまをはじめとするすべてのステークホルダーから信頼され、選択され続ける企業グループをめざします。

## 広島ガスCSR報告書2022

### 発行にあたって

企業は従来から、社会に対して製品やサービスの提供という本来業務に加え、環境保全、社会貢献などのさまざまな社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)を果たしてきました。近年は、CSRを一つの指標として企業を評価するなど、CSR活動の重要度は一層高まっています。

広島ガスでは、2000年度からこれらの活動内容を経営分野と環境分野の両面から開示することを目的に、報告書を発行してきました。その後、2005年度から、「CSR報告書」として「経営」、「環境」、「社会」の3分野で構成しています。

また、SDGsに関連する広島ガスの取り組みについて、該当するSDGsのアイコンを記載しています。

### 【報告対象】

【範囲】広島ガスおよびその関係会社からなる「広島ガスグループ」  
【期間】2021年4月から2022年3月までの活動(一部、2022年度の実績を含む)

### 【参考ガイドライン】

○環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」



## TOP MESSAGE



代表取締役社長 社長執行役員

松藤 研介

広島ガスは1909年の創業以来、地域に根差したエネルギー会社として、地域の皆さまに支えられて発展してまいりました。広島ガスグループが果たすべきCSR(企業の社会的責任)とは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念に基づき、エネルギーの安定供給と保安の確保を柱とした事業活動を展開していくことであると考えております。

CSRには「経営」、「環境」、「社会」の3つの側面があります。経営的側面では、エネルギーの安定的かつ安全な供給と外部環境の激しい変化に対応する経営計画の策定・実施を、環境的側面では、天然ガス・LPガスの普及拡大、再生可能エネルギー電源の開発などの事業活動を、社会的側面では、社会貢献活動および的確・迅速な情報発信を推進しております。

私たちを取り巻く環境は、ガス・電力市場の小売全面自由化に伴う事業者間競争の進展や、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた脱炭素化の加速など、かつてないスピードで劇的に変化しております。加えて、ロシアのウクライナ侵攻による地政学的リスクの高まりが原料調達に与える影響についても、新たな課題として浮上しております。生活に欠かすことのできないエネルギーを供給する事業者として、エネルギー

を安定して供給するという使命を果たすため、確実な原料調達に向けて最大限努力するとともに、原料調達先の多様化も含め、中長期的な原料調達の安定化に努めてまいります。

こうした中、広島ガスグループは、2030年に向けて、「広島ガスグループ2030年ビジョン」および「広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言 ～笑顔あふれる未来へのAction～」の実現に向けた取り組みを着実に進めるとともに、さらにその先の2050年に向けて、2021年11月に策定した「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」の実現に向け、「ガス・電気・環境」を3つの柱として諸施策を展開しております。

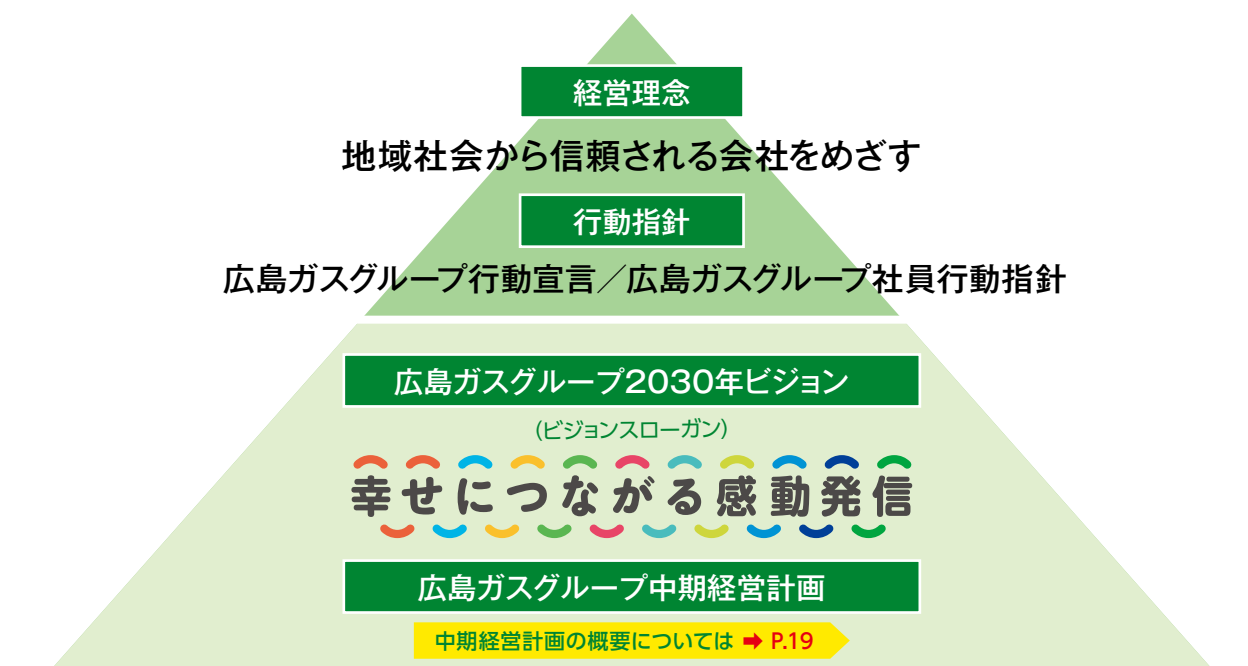
広島ガスグループは、これまで進めてきたガス「天然ガス・LPガス」の積極的・効率的利用による「累積CO<sub>2</sub>の低減」に引き続き邁進してまいります。加えて、「カーボンニュートラルな都市ガス・LPガス」の導入推進、さらには、グリーン電力の供給、再生可能エネルギーの普及拡大、森林保全活動などを通じたCO<sub>2</sub>排出量の低減と吸収に貢献する事業展開を着実に実行しております。今後も、「2050年カーボンニュートラルの実現に向けた事業基盤の改革・強化」を強く意識し、再生可能エネルギーの導入拡大や低炭素化に貢献する積極的な投資による事業展開を通じて、地域社会と共に発展する企業グループをめざしてまいります。

さらに、広島ガスグループの競争力確保に向けて、デジタルトランスフォーメーション(DX)への取り組みを推進し、業務効率化による労働生産性の向上と新たな事業領域に挑戦してまいります。また、地域のエネルギー供給を担う事業者の使命である、「保安の維持・向上と安定供給の確保」にも引き続き注力し、インフラ整備や現場力の向上などを通じて、お客さまの安心・安全の確保に努めてまいります。

地域に根差した広島ガスグループが、持続的に発展していくためには、地域の活性化が不可欠であると認識しております。本業であるエネルギー供給の着実な遂行に加え、お客さまや地域の皆さまとのつながりやふれあいを大切にし、地域の芸術文化、教育、スポーツ、環境分野などにおける社会貢献活動、情報発信に取り組んでまいります。こうしたESG経営・SDGsを意識した取り組みの推進と、「イノベーション」を通じ、脱炭素社会の実現および「このまち思い」な「まちづくり」に貢献してまいります。

広島ガスグループは、地域社会の発展と持続可能な社会の実現に向けて、グループ役職員一丸となって、業務に精励し、すべてのステークホルダーの皆さまから信頼され、選ばれ続ける企業グループをめざしてこれからもチャレンジし続けます。

2022年7月



**カーボンニュートラル**  
広島ガスグループ「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」

**SDGs**  
広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言 ～笑顔あふれる未来へのAction～

**CSR**

経営    環境    社会

**ESG**

環境    社会    ガバナンス

**2030年ビジョン基本方針**

<b>1</b> 経営施策を通じた 感動追求	<b>2</b> エネルギーサービスを通じた感動追求	<b>3</b> 安心を通じた 感動追求	<b>4</b> 人とのつながりを通じた感動追求
------------------------------	-------------------------------	----------------------------	-----------------------------

**2030年ビジョン基本戦略**

<b>チャレンジ 1</b> 総合エネルギー事業の拡大で、 地域社会の元気を支えます。	<b>チャレンジ 2</b> 環境貢献につながる事業展開と、 次世代エネルギーの研究に 取り組みます。	<b>チャレンジ 3</b> デジタル技術の活用で、 社会や暮らしに生きる 高付加価値を創造します。
<b>チャレンジ 4</b> 人を育て、地域の力となる プロフェッショナル集団になります。	<b>チャレンジ 5</b> 常に安心安全を課題に、 「もっとできること」を 追求・実現します。	<b>チャレンジ 6</b> 地域の皆さまと共に 「理想のまちづくり」を お手伝いします。

## 広島ガスグループSDGsの取り組み

### 広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言 ～笑顔あふれる未来へのAction～

広島ガスグループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念に基づき、実効性のあるコーポレート・ガバナンスに取り組み、国連が提唱する「持続可能な開発目標」に賛同し、「このまち思いエネルギー。」という企業スローガンのもと、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2020年10月30日  
広島ガスグループ



#### 広島ガスグループ SDGs重点取り組み項目

##### エネルギーの普及拡大・安定供給

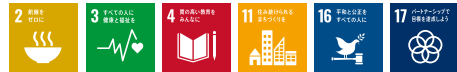


基幹事業であるガス体エネルギーの普及拡大・高効率利用・安定供給などを通じて、持続可能な社会に貢献してまいります。

##### 【主な取り組み項目】

- ① ガス体エネルギー（天然ガス、LPガス）の普及拡大と高効率利用の推進
- ② ライフラインであるガス導管を通じての安定供給の強化
- ③ 保安レベルの向上、災害対策およびレジリエンス機能の強化
- ④ デジタル技術を活用したお客さまサービスの充実
- ⑤ 新規事業の展開

##### 地域社会への貢献



広島ガスグループは、これまで110年以上にわたって、地域の皆さまと共に歩んでまいりました。今後もこのまちとのパートナーシップを推進し、地域社会の発展に貢献してまいります。

##### 【主な取り組み項目】

- ① 地域の文化・芸術、スポーツ振興への貢献
- ② 防災教育・次世代教育・子ども食堂等の取り組みの推進
- ③ 国際平和都市広島への貢献

##### 環境保全



環境にやさしい天然ガスの普及拡大に加え、バイオマスエネルギーをはじめとする再生可能エネルギーの普及拡大や森林保全活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

##### 【主な取り組み項目】

- ① 再生可能エネルギーの普及拡大
- ② 地域環境保全活動の推進
- ③ 森林保全活動の推進

##### 働きやすい社会のために



労働安全衛生の取り組みの充実を図り、一人ひとりが働きがいをもって仕事に取り組み、成長し、活気のある職場環境の実現に力を入れてまいります。

##### 【主な取り組み項目】

- ① 働き方改革の推進
- ② 労働安全衛生体制の充実
- ③ 人材育成への取り組み

### 広島ガスプロパングループ このまち思い SDGs実行宣言

2022年1月15日、広島ガスプロパン(株)は、「広島ガスプロパングループ このまち思い SDGs実行宣言 ～笑顔あふれる未来へのAction～」を策定しました。2020年10月に策定された「広島ガスグループ このまち思い SDGs実行宣言」の取り組みを実行しつつ、よりLPガスに特化したSDGsの取り組みを進めています。

広島ガスプロパンと広島ガスプロパングループの販売店、LPガス充填会社、配送会社の合計20社で取り組みをスタートさせましたが、今後は各社と好事例を水平展開し、活動の充実を図るなど、広島ガスプロパングループが一丸となって、SDGs達成への貢献に向けて取り組んでいきます。

# 特集 広島ガスグループ 「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」

2021年11月、広島ガスグループは、昨今の地球温暖化対策への社会的要請の高まりを受け、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた中長期的な方向性や取り組みを示す「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」を策定しました。

経営理念である、「地域社会から信頼される会社をめざす」を念頭に、当社グループ役職員が一丸となり、2050年カーボンニュートラルの実現、そして「このまち」のさらなる発展に貢献できるよう努めてまいります。

## 広島ガスグループにおける「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」

- 2030年までは、これまで実行してきた環境負荷低減に向けたさまざまなESG関連事業の取り組みを中心に、事業活動やお客さま先におけるCO<sub>2</sub>排出量の低減を着実に推進していきます。
- 将来的には、メタネーションや水素の利用による「ガス自体の脱炭素化」に取り組むとともに、電源の脱炭素化も含め、2050年のカーボンニュートラルをめざしていきます。

## 2030年度目標

CO <sub>2</sub> 排出削減貢献量	30万t/年 ※1
再生可能エネルギー電源取扱量	6万kW ※2
広島ガス事業所・製造所におけるCO <sub>2</sub> 排出量	2013年度比50%減 ※3

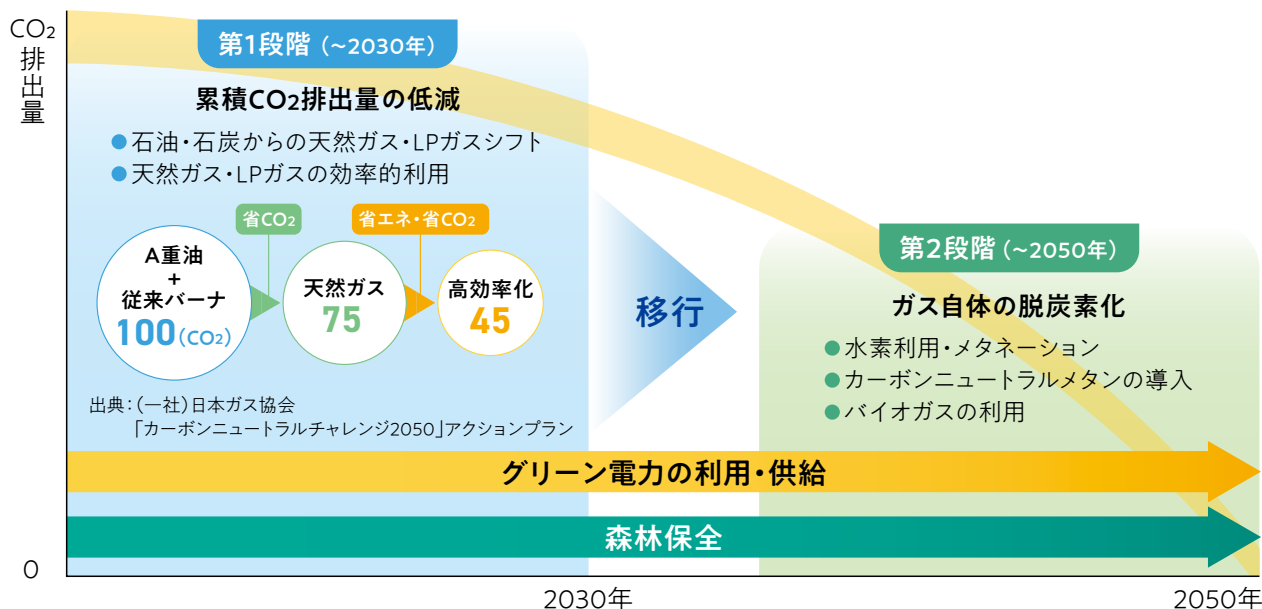
※1 当社およびお客さま先における2030年度時点のCO<sub>2</sub>排出削減貢献量(2021年度～)

※2 太陽光、風力、バイオマスなど固定価格買取制度(FIT)の適用電源を含む

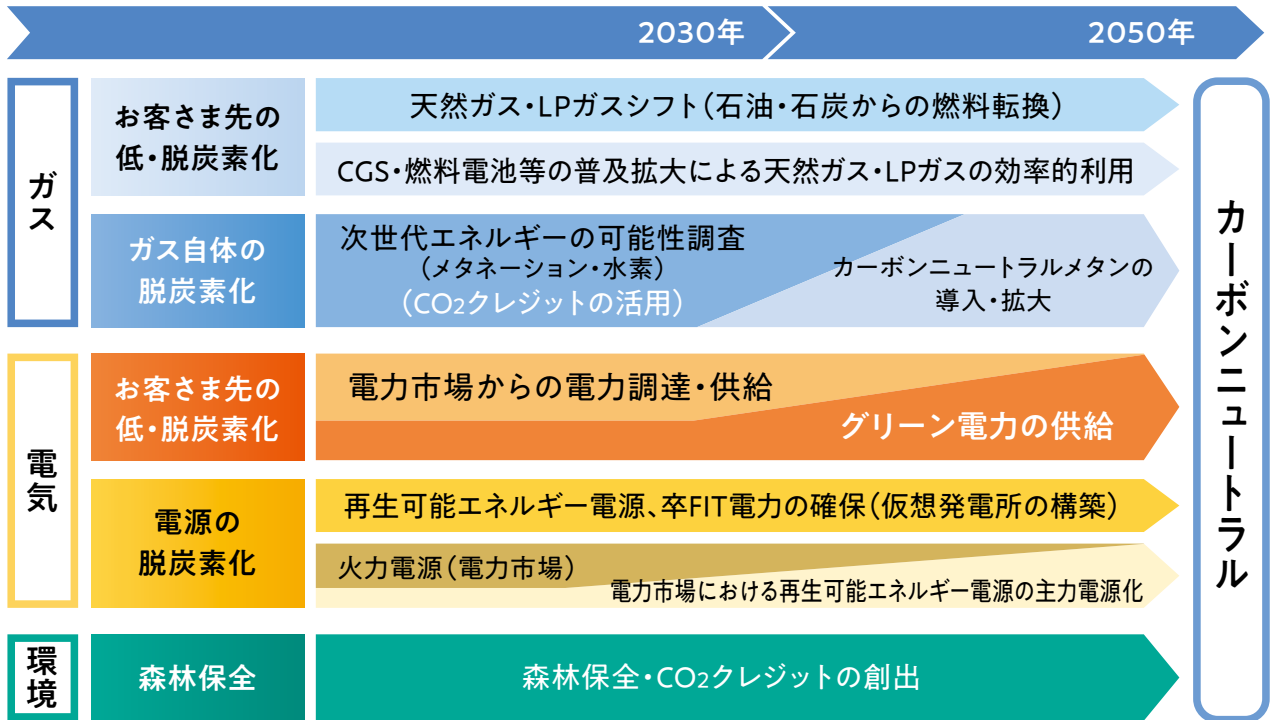
※3 CO<sub>2</sub>排出削減貢献量 30万t/年を含む

## 取り組みの基本的な考え方

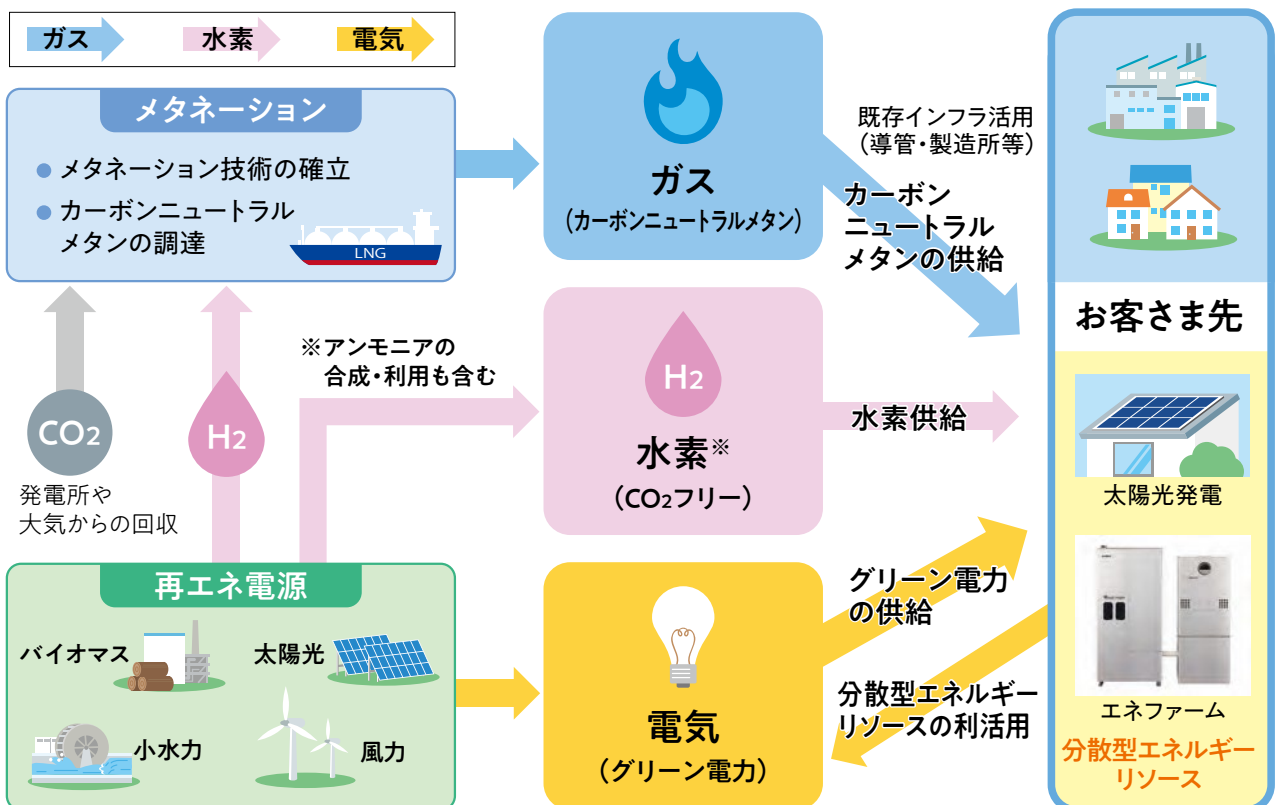
天然ガス・LPガスシフト、天然ガス・LPガスの効率的利用による「お客さま先の低炭素化」を着実に進めつつ、カーボンニュートラルメタンの導入、バイオガスの利用を通じた「ガス自体の脱炭素化(供給側の脱炭素化)」へ移行していくことで、2050年のガスのカーボンニュートラル化に挑戦します。



## 2050年カーボンニュートラルに向けたロードマップ



## カーボンニュートラル実現に向けたエネルギーシステムのイメージ





## カーボンニュートラル実現に向けた具体的な取り組み

### ガス

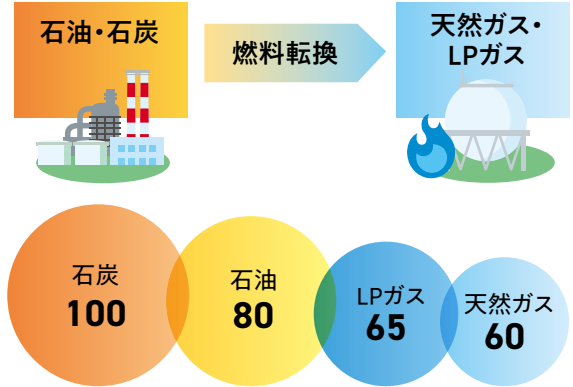
#### 石油・石炭からの天然ガス・LPガスシフト および効率的利用

- ◎ 石油・石炭から天然ガス・LPガスへの転換
- ◎ 分散型エネルギーシステムの普及拡大
- ◎ LNGバンカリング

#### ガス自体の脱炭素化

- ◎ 水素およびカーボンニュートラルメタンの利用
- ◎ CO<sub>2</sub>クレジットの活用

【石油・石炭→天然ガス・LPガス転換によるCO<sub>2</sub>削減ポテンシャル】



石炭を100とした場合のCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)排出量

### 事例紹介

#### ▶カーボンニュートラルLNG・カーボンニュートラルな都市ガス

2022年1月2日、カーボンニュートラルLNG(以下「CNLNG」)を初めて導入しました。本CNLNGは、天然ガスの採掘から液化、輸送、再気化、お客さままでの燃焼に至るまでの工程で発生するCO<sub>2</sub>を、マレーシアLNG社が保有するCO<sub>2</sub>クレジットを活用して相殺(カーボン・オフセット)したLNGを購入したものです。

また、本CNLNGを活用した、カーボンニュートラルな都市ガスの供給に関する契約をイオンモール(株)さまと締結し、2022年4月1日よりTHE OUTLETS HIROSHIMAへ当社初となるカーボンニュートラルな都市ガスの供給を開始しました。



カーボンニュートラルLNGの受入れ(廿日市工場)

#### ▶カーボンニュートラルLPガス

広島ガスプロパン(株)は、アストモスエネルギー(株)と「カーボンニュートラルLPガスの売買に関する契約」を締結し、2022年5月31日、広島LPG物流センターにカーボンニュートラルLPガスを初めて受入れました。

今回購入するカーボンニュートラルLPガス(年間60t)は、広島ガスプロパン本社および支社・支店など計6カ所の事務所給湯や空調、自社オートガス車に使用し、年間約198tのCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献します。



カーボンニュートラルLPG取扱店証明書

### 電気

#### グリーン電力の供給体制の構築

- ◎ 分散型エネルギーリソースの普及・利活用
- ◎ グリーン電力の供給

### 事例紹介

#### ▶グリーン電力の供給

2022年1月に小売電気事業者登録を完了し、2022年4月から当社グループ会社施設へグリーン電力の供給を開始しました。グリーン電力の供給を開始することで、事業者としてのCO<sub>2</sub>排出量削減に努めていきます。





電気

再生可能エネルギー電源の確保

◎ 再生可能エネルギー電源の拡大と多様化

事例紹介

▶ 再生可能エネルギー電源の導入拡大

海田発電所(バイオマス発電)

中国電力(株)との共同出資会社である海田バイオマスパワー(株)は、2021年4月から海田発電所の営業運転を開始しました。

本発電所は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT制度)を活用し、広島県内の林地残材等の未利用木材や、海外の木質系バイオマスなどの燃料を80%程度利用し、年間で約8億kWhを発電しています。



海田発電所(バイオマス発電)

広島ガス志和堀発電所(小水力発電)

2020年10月に志和堀電化農業協同組合が保有する本発電所を取得し、設備の修繕や試運転を行った後、2021年6月から営業運転を開始しました。本発電所は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT制度)を活用しており、年間で約50万kWhを発電しています。

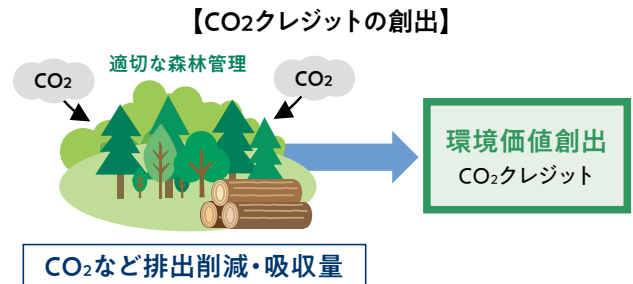
環境

「森林保全」を通じた「CO<sub>2</sub>削減」への貢献

◎ 森林保全

◎ CO<sub>2</sub>クレジット\*の創出

\*政府や企業間で取引される、森林保全や再生可能エネルギーの導入といった事業によるCO<sub>2</sub>などの排出削減量・吸収量を表したものの。



事例紹介

▶ 森林保全活動に関する近年の主な動き

2019年11月	広島県緑化センター内に「このまち思い 広島ガスの森」を開設
2020年7月	林野庁と分収造林契約を締結
2020年9月	広島県竹原市仁賀町の森林地を購入し、「このまち思い 広島ガス竹原の森」を開設
2020年11月	広島県神石高原町星居山(ほしのこやま)に「このまち思い 広島ガス神石高原の森」を開設
	広島県森林組合連合会と広島県における計画的な森林の伐採、植林、保育による森林保全に取り組むことを目的とした協定を締結
2022年4月	「このまち思い 広島ガス竹原の森」の未利用木材を海田発電所へ木質燃料として供給開始



このまち思い 広島ガスの森

## 三原西部工業団地における冷熱供給事業

2022年2月から、(株)やまみさまと連携して省エネルギーに取り組む「未利用LNG冷熱の融通と高効率冷凍機導入による連携省エネルギー事業」の運用を開始しました。

本事業は、当社備後工場と隣接するやまみ本社工場において、備後工場は、都市ガスを製造する過程のLNGの冷熱をやまみ本社工場へ供給することでLNGの気化熱エネルギーの有効活用を図り、やまみ本社工場は、既存の冷凍機をLNG冷熱の受入れに対応した高効率冷凍機へ更新し、備後工場から受入れたLNG冷熱を豆腐製造過程の冷却熱として有効活用することで省エネとCO<sub>2</sub>の削減を図る連携省エネルギー事業です。

今後も、お客さまとともにCO<sub>2</sub>排出量低減への取り組みを推進してまいります。



備後工場 LNG気化器

## ABC Cooking Studioとの連携

ABC Cooking Studioとアライアンス契約を締結し、「ABCパセーラ広島クッキングスタジオ」(2021年11月12日オープン)へ最新ガス機器を導入※しました。ABC Cooking Studioとしては、広島市中心部エリアで初めてガス機器を設置したスタジオとなります。

「ABCパセーラ広島クッキングスタジオ」において、ガス機器の特徴を活かした料理教室(広島ガス主催)や、ABC Cooking Studio主催のレッスンへのご案内など、ガスの炎を活用した調理の楽しさとおいしさを体感いただいています。

※[導入ガス機器] Siセンサーコンロ4台、ビルトインオープン4台、卓上オープン16台、ガス炊飯器2台



## 広島ガスグループにおけるDX

2022年7月、技術的視点から全社のDX施策を支援・推進することを目的として「DX推進グループ」を設置し、「IT推進部」を「デジタル戦略推進部」に名称変更しました。

デジタル技術とデータ活用のための人材育成に取り組むとともに、DX推進会議を通じて、グループ方針、目的などの共有化を図り、全体最適の視点で、「既存業務の高度化・効率化」と「新たな事業領域」へ挑戦してまいります。



## ■ 廿日市工場におけるローカル5G実証実験

総務省の令和3年度「課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」に採択され、デジタル技術を活用したスマート保安に関する取り組みとして、2021年12月から2022年3月に、カメラやエッジAIを搭載した走行ロボットの活用によるガス漏えい検知など、ローカル5Gを活用した保安業務の高度化を実現する共同実証実験※を廿日市工場で実施しました。

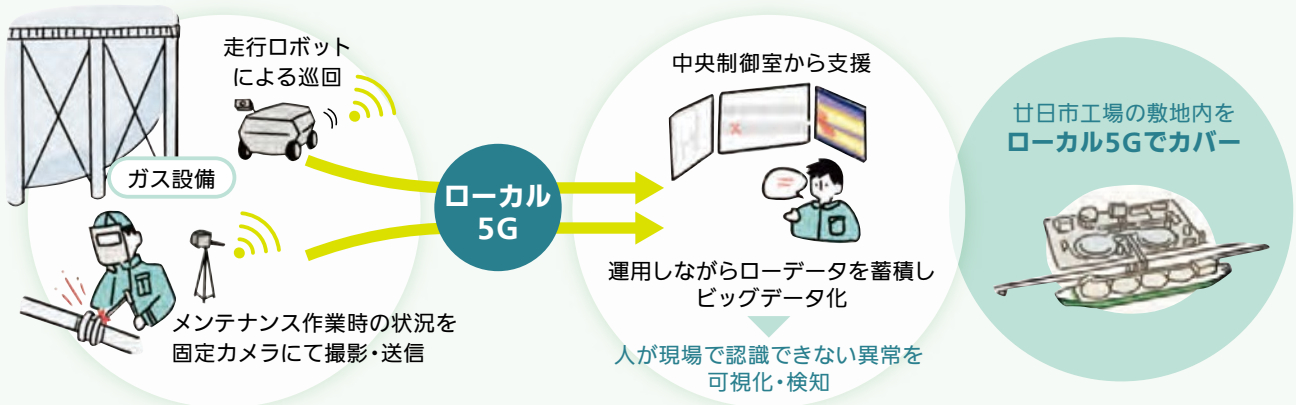
今後も、当社はスマート保安をDX推進の重点分野に位置づけ、ノウハウを蓄積するとともに、5G、AI、ロボットなどの先進テクノロジーを活用した安心安全な保安業務の実現に挑戦してまいります。

※[共同実証実験参画企業] 広島ガス(株)、このまちネットワーク(株)(広島ガス(株)子会社)、富士通(株)、知能技術(株)



走行ロボット

### 【広島ガス 廿日市工場におけるローカル5Gの実証実験イメージ】



## ■ 東京証券取引所 プライム市場上場維持基準適合に向けた取り組み

2022年4月に実施された(株)東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、2021年7月、東京証券取引所から、新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する通知を受け、2021年12月に、プライム市場を選択する申請書を提出するとともに、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を開示し、2022年4月4日に、プライム市場に上場しました。

今後は、「広島ガスグループ 2030年ビジョン」を企業価値の向上および株価の向上に向けた長期的方針として位置づけ、SDGs実行宣言、2050年カーボンニュートラルへの取り組みなどを中期経営計画に沿って着実に進めることにより企業価値を持続的に向上させるとともに、IRおよび株主還元施策の充実を通じて当社株式の価値を高め、魅力あるものとするにより、「株価の向上」をめざしてまいります。

また、政策保有株式についての保有合理性の検証を含めた各種施策の実行により、当社株式のさらなる流動性の向上を通じて「売買高の向上」を図り、1日平均売買代金の上場維持基準適合をめざしてまいります。

### 1日平均売買代金の上場維持基準適合をめざす

